

令和6年度 第2回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年9月27日（金） 午後1時30分から午後3時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁、青山 敏郎、溝口 玄、笹竹 和行、森下 智子
實森 浜代、坂井 久司、瀧澤 文
- 4 欠席委員 松井 章泰
- 5 学 校 山下 拓（校長）、瀬戸 一志（教頭）、横山 貴美恵（CSディレクター）
- 6 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、輪番により松井委員となるが、欠席のため、会長より青山委員にお願いしたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。本日は、青山委員が議長を務めることとなった。

10 熟議事項

- (1) 学校評価アンケートの結果をふまえた、今後の学校運営の在り方について
- (2) 休日の部活動地域移行について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 学校評価アンケートの結果をふまえた、今後の学校運営の在り方について

議長の指示により、教頭より学校評価アンケートの結果について、資料（6～9頁）に基づき説明があり、また、校長より学校評価アンケート結果をふまえた、今後の学校運営の在り方について、資料（10、11頁）に基づき説明があり、委員からは、授業参観および行事参観の感想も含め、以下の発言があった。

●資料6頁の5、6番について、◎と○はどちらも数値が高いと思うが、どう判断していけばよいか。（笹竹委員）

→◎と○の数値が表すように、心理的な境の判断が難しく、（加害、被害）双方の生徒の思いの違いと、その対応の違いの表れと思う。生徒からの申し出（嫌な思いをした等）があれば記録し、即急に対応しているが、広い意味ではいじめに含まれるような、「冷やかし」とされることの多いレベルをいじめとして分類した場合、「加害生徒の保護者」として連絡することになり、（その判断と対応が）難しい。（教頭）

→中学の指導は、教科別に先生が違うこともあり、小学校のいじめ問題と違って対応が難しいように思う。（溝口委員）

- アンケート結果から、全体的に自分に対する評価が低いように思う。(瀧澤委員)
- 生徒本人と保護者の認識の違いについては、父と母でも違うと思うが、保護者は経験もあり、子供は信頼しているのでいいように思う。(坂井委員)
- 生徒は自己評価が低いように思う。(相談されたことを)丁寧に聞いてあげられるとよい。大人しい子だと自分から言えないこともあり、お忙しいとは思いますが時間をとってあげてほしい。(實森委員)
- 文化発表会では、ダンス等自分を表現できる場があって良いが、反対に、辛い思いをして出席できていない子達の事が頭の中をよぎり気になった。(實森委員)
- 普段欠席が多い子が、文化発表会に、客席まで応援に来てくれた。(校長)
- 季節の変化を普段から気にしている子なのか、授業で季節に関する質問が出たとき、すぐ答えられているのが良い。思春期の子について、親子の対話が少なく、知り合いの子等から教えてもらって知ることもあり、対応が難しい。(森下委員)
- 思春期はいろいろあり、難しい時期ではある。以前は紙でのアンケートだったが、今のアンケートはタブレットで行い、結果の集計もすぐ出る。(生徒も紙より)回答しやすい面があり、状況が上がってきやすいと思う。(校長)
- 子供をどう育てようとしているのか。挨拶は人間を成長させるのに一番いい方法。挨拶することは大切だが、なぜ大切か分かっていることが大切。前から誰が来ているか(年齢、身なり、行動、表情等)を観察し、それによってどう対応するのか(敬語を使うのか等)を判断する力を養うことにも繋がる。(青山委員)
- 挨拶は社会と繋がることのできる大切なことだと、子供たちに伝えた。(校長)

協議の結果、「学校評価アンケートの結果をふまえた、今後の学校運営の在り方について」は、承認不要とした。

(2) 休日の部活動地域移行について

議長の指示により、教頭・校長から休日の部活動地域移行について、資料(12、13頁)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 休日は社会教育の一環ということだが、どこの管轄か。地域移行自体は浜松市地域部活動検討委員会がやっているが、今後どこが管轄するか決まっているか。(笹竹委員)
- 休日の大会等も含め、いつから移行するのか。小学生で部活の有無によって中学校を決める人もあり、それらも含めて保護者の間で話題に上がっている。(瀧澤委員)
- まだ決まっていない。今後変更があるかもしれない。(校長)
- 大会参加する場合に、チーム名はどうなるのか。学校名か各チームで決めた名前か。(溝口委員)
- まだこれから決まっていくが、決まり次第お知らせする。(校長)
- 各部活動について、以下のような状況である。

野	球	部：天竜区内4校からなる生徒、保護者が指導対応している。
今後地域クラブに発展する可能性がある。		

剣 道 部：今後クラブを立ち上げる可能性がある。

男女バレーボール部：保護者がクラブを立ち上げている。

男子ソフトテニス部：保護者がクラブを立ち上げ、外部コーチが指導している。

陸上部・卓球部：まだそのようなクラブができていない。

(校長)

協議の結果、「休日の部活動地域移行について」は、承認不要とした。

【その他報告事項等】

- 司会の教頭から、創立20周年に関する取り組みについて、資料末頁を用いて説明があった。
- 司会の教頭から、次回会議は、令和6年12月10日（火）午後1時30分から会議室で開催する旨の説明があった。
- 司会の教頭より、11月1日（金）に体育祭を開催する旨の説明があった。
- 笹竹委員より、ミュージカル（本校生徒も数名参加している）について、別紙資料（4枚）を用いて、お知らせがあった。